

社会福祉法人なのはな会
平成 29 年度事業報告書

法 人 本 部

(総括報告)

I 事業概要

I - (1) 法人概要

主たる事務所の所在地 仙台市青葉区荒巻神明町2-10	電話番号 022-301-2335	代表者氏名 加々見ちづ子
法人認可年月日 1990（平成2）年11月8日	法人認可番号 県指令第177号	設立登記年月日 1990（平成2）年11月15日

I - (2) 法人の行う事業

事業の種類	施設種別	名 称	施設長名	定 員	職員数
第2種社会福祉事業	児童発達支援センター	なのはな園	沖津美奈子	30	24
	児童発達支援センター	仙台市なかよし学園	大村 清	30	24
	児童発達支援センター	仙台市なのはなホーム	新井美保	30	15
	児童発達支援事業所	仙台市あおぞらホーム	大村 清	40	14
	仙台市障害者家族支援等 推進事業（レスパイト）	あっとほーむ・あおぞら	大村 清	日中2	3 (兼務)
	生活介護事業所	こまくさ苑	遠山裕湖	33	23
	生活介護事業所	はまなす苑	佐藤弘康	35	25
	生活介護・就労継続支援B型 多機能型事業所	はまゆう	小山田美奈子	20	13
	仙台市障害者家族支援等 推進事業（レスパイト）	あっとほーむ・なのはな	加賀谷尚	日中5 宿泊3	5 登録24
	障害児等療育支援事業及 び障害者相談支援事業	ピース・スマイル	加賀谷 尚	—	3
	共同生活援助事業所	グループホーム・なのはな	加賀谷 尚	20	28
	居宅介護事業・重度訪問介 護事業・行動援護事業・地 域生活支援事業	オールハンプ・なのはな	加賀谷 尚	—	2 登録12
短期入所事業	ライムライト	加賀谷 尚	4	3	

注1) 数値は平成30年3月31日現在。

注2) 複数事業所を兼務している職員は、給与台帳上の所属事業所でカウント。

I - (3) 職員の状況

	法人本部	施設部門	地域生活支援事業部門	送迎事業部門(成人事業)
管理者(a)	1	6	1	—
副管理者(b)	0	1	0	
直接処遇職員(c)		105	42	
直接処遇外職員(d)	2	21	2	15
合計(a+b+c+d)	3	133	45	15
《職員内訳》				
常勤職員(e)	3	83	13	0
非常勤職員(f)	0	50	32	15
合計(e+f)	3	133	45	15

注1) 嘱託職員は常勤職員として集計。嘱託医は算定から除く。※職員総数：196名

注2) 数値は平成29年3月31日現在の数値。

注3) 直接処遇外職員は、事務員、運転手、添乗員、栄養士、調理員

I - (4) 役員等の状況

役職	氏名	就任年月日	備考
理事	加々見ちづ子	2017(平成29)年6月28日	理事長・発達相談専門員
理事	芝田和史	2017(平成29)年6月28日	業務執行理事・法人本部事務長
理事	伊藤博義	2017(平成29)年6月28日	宮城教育大学名誉教授
理事	西村 學	2017(平成29)年6月28日	山形大学名誉教授
理事	沖津美奈子	2017(平成29)年6月28日	なのはな園施設長
理事	加賀谷尚	2017(平成29)年6月28日	なのはなサポートセンター長
理事	佐藤弘康	2017(平成29)年6月28日	はまなす苑施設長
監事	佐々木和久	2017(平成29)年6月28日	(株)ジャパンヘルスサミット経理部長
監事	伊藤倫就	2017(平成29)年6月28日	前こまくさ苑施設長
評議員	荒井美智子	2017(平成29)年6月28日	聖和学園短期大学教授
評議員	遠藤雄三	2017(平成29)年6月28日	亘理町民生委員児童委員
評議員	川住隆一	2017(平成29)年6月28日	東北福祉大学教授
評議員	國分祐子	2017(平成29)年6月28日	特定非営利活動法人チャレンジネットワークみやぎ副理事長

評議員	小松秀茂	2017(平成29)年6月28日	尚綱学院大学教授
評議員	立岡 学	2017(平成29)年6月28日	NPO法人理事長
評議員	門間久美子	2017(平成29)年6月28日	弁護士
評議員	横尾盛雄	2017(平成29)年6月28日	社会保険労務士

注1) 掲載の役員等は平成30年3月31日現在のもの。

I — (5) 平成29年度の主な事業経過

○業務執行体制の変遷

平成29年度は改正社会福祉法に基づいて、法人の最高意思決定機関としての評議員会、業務執行機関としての理事会という新たな法人経営管理体制の下で始動した。しかし、伊藤博義前理事長の健康上の理由から、年度途中の8月より加々見ちづ子理事を理事長とした業務執行体制へと移行した。

(平成29年度の役員体制の変遷)

～平成29年6月28日		平成29年6月28日～		平成29年8月7日～	
理事長	伊藤博義	理事長	伊藤博義	理事長	加々見ちづ子
専務理事	加々見ちづ子	業務執行理事	加々見ちづ子	業務執行理事	芝田和史
常務理事	伊藤恵仁	理事	沖津美奈子	理事	伊藤博義
理事	荒中	理事	加賀谷尚	理事	沖津美奈子
理事	大木正俊	理事	佐藤弘康	理事	加賀谷尚
理事	佐俣主紀	理事	芝田和史	理事	佐藤弘康
理事	西村 學	理事	西村 學	理事	西村 學

○法人中期計画に関する取り組み

平成28年度策定の法人中期計画では、10項目の具体的施策を示した。その中でも今年度最も大きく課題として取り上げられたのは「新たな生活介護事業所の開設」と「住まいの場の拡充に向けた取り組み」である。

i) 「新たな生活介護事業所の開設」について

仙台市が公募した「平成30年度障害福祉サービス事業所整備に係る事業選定」に法人として応募した。応募の主な背景は以下の通りである。

- ・法人の中心的課題として「住まいの場の拡充」があり、そのためにも財務の面でも人員の面でも経営基盤を広げる必要性があること
- ・事業選定の候補地が貝ヶ森地区であり、法人が運営する成人施設と近接地域であること
- ・貝ヶ森地区は複数の大学が近隣にあるため、取り組み次第では学生との交流が図ることができ、将来的には福祉人材の確保にもつなげられる可能性があること

- ・貝ヶ森地区は福祉に対する需要度が高い地域と推察されたため、この地区を基盤にしなが
ら「住まいの場」についても取り組みを進めていきたいと考えたこと
- ・事業選定において市有地の提供および国庫補助が保障されるような公募が今後は難しいで
あろうという状況があったこと

応募の結果は落選であった。これにより、新たな生活介護事業所を受託することを視野に入れた経営構想を練り直さなければならない。現在の法人が抱える課題を整理し、事業拡充のための財政面および人材面の基盤整備を改めて検討していきたい。

ii) 「住まいの場」拡充に向けた取り組みについて

成人施設の利用者を中心に、親の高齢化が大きな課題となっている。保護者の死別あるいは体力の限界等の理由から、グループホーム（以下、GHと表記）等の住まいの場に対するニーズが急増している状況である。しかし、法人としては平成22年にGH（長命ヶ丘、東黒松）の開設を最後にGHの拡充は止まっている状況である。この間に、上述したような課題が進行している現状に至っている。

なのはな会は幼児施設から始まり、学童期を終えた障害者の行き場を保障するために成人施設を作り、そして、成人施設の利用者が地域で暮らすことや自立生活をおこなうことをサポートするための地域生活支援事業に取り組んできた。その歩みは、障がいのある方のライフステージの変化（＝成長）と共に発展してきたとも言える。

障がいのある方が地域生活・自立生活をおこなうには、個々に合わせた多種多様なサポートが必要であり、健常者と同じような“当たり前の暮らし”をおこなうには相応の人的サポートの保障を要するが、それを担保するような制度（報酬）保障は不十分であり、福祉人材難も相まって、利用者が希望する生活やそれをサポートし広げたいと願う親や職員の思いを実現することが難しい状況である。

法人では、障がいのある方が青年期を豊かに暮らすためには「住まいの場」の充実が不可欠であるとの考えから、私たちが考える理想的な住まいの場のあり方を検討し、他法人の取り組み事例も参考にしながら『シェアハウス構想』を打ち出した。この構想は、「本人主体で多様な余暇の過ごし」「地域住民とのつながり（地域づくり）」「専門性の高い生活支援」「仲間との豊かなつながり」を基本コンセプトとした。

この構想の実現を目指して、「青年期を豊かに生きる住まいの場を作る会」を発足させ、法人内外の有識者・保護者のご協力をいただきながら検討を進めているところである。しかし、この構想は、理想的な住まいの場を目指したものであるがゆえに、実現するためには多大な時間そして資金を要するものである。平成29年2月7日には、保護者有志との住まいの場に関する懇談会を持ち、法人からは加賀谷と芝田が参加した。会には30名を超える保護者が参加するなど、この問題に対する関心の高さがうかがえた。参加した方からは、改めてGH等の住まいの場を求める声が多く聞かれ、この問題が喫緊のものであり法人の中心的課題であることの認識を得た。

今後の法人の取り組みとしては、私たちが考える理想的な住まいの場のあり方を検討しつつ、喫緊の課題に対する取り組みを具体化していくことが求められる。

○運営課題に対する取り組みについて

(1) 安定的な財政基盤づくり

国の施策の中で、社会福祉法人のあり方として経営の合理化が求められている。このような状況の中で、なのはな会が存続していくためには安定的な財政基盤を構築していくことは欠かせない条件である。

そのために、「修繕等に係る資金の積み立て」「寄付金を集める活動の強化」「後援会活動との連携強化」「給与制度の見直し」を年度計画の中に掲げたが、達成に至ったのは新たな給与制度の構築のみであった。

法人の減価償却累計額は約4億6千万円(平成28年度決算値)であるが、それに対する積立準備率は約7%となっており、十分とは言えない。法人には建設後20年前後の建物が多いだけに修繕等の資金を積み立てておくことは重要であるため、計画的な資金の積立に努めたい。

その他、寄付金活動や後援会との連携強化については、法人本部の人員体制の厳しさもあり取り組みを実施することができなかった。後援会との連携については、そのあり方について検討していきたい。

(2) 人事政策の構築と働きがいのある職場づくり(キャリアパス)

職員がやりがいを持って仕事を全うしていくためには個々のスキルアップは不可欠である。職員が自らの役割や職責を自覚すること、また、将来の職員としてありたい姿・あるべき姿をイメージしながら日々の業務に取り組むことができるような仕組みづくりは重要である。

平成28年度は具体的な成果には結びつけられなかったが、法人運営会議での検討を踏まえて「研修検討委員会」を設けることを決めた。今後はこの委員会を中心に研修体系のベースを検討し、よりよい研修体系の構築に努めていきたい。

また、看護師および作業療法士等による「(仮称)医療職・リハ職連絡会」や栄養士および調理員による「(仮称)厨房連絡会」を設け、専門職の情報共有や日々の業務に関する相談等をおこない、専門職としてのスキルアップも図っていきたい。

(3) 積極的な情報発信と法人PR

情報発信については、法人のFacebookを開設して各施設・事業のイベントや取り組みに関する情報を配信した。閲覧数も逡増しており、今後も活用していきたい。また、職員が持つ人的ネットワークから、こまくさ苑の蕎麦店が情報誌「りらく」に掲載されたことも情報発信という点では有意義であった。

また、学生向けではあるが昨年度に引き続き「FUKUSHI就職フェア」に参加し、法人PRをおこなった。関連企画として学生を対象とした見学ツアーを企画し、とても好評であった。このイベントを通じてボランティアやレスパイト介護人につながった学生も複数おり、学生向けPRとしては大きな成果であった。

(4) 利用者の状況に対応する支援体制の構築(利用者および保護者の高齢化)

先に触れたように、利用者および保護者の高齢化は法人の大きな運営課題である。この課

題については、上述のような「住まいの場」を確保だけにとどまらず、利用者の身体面・健康面の変化に対応するための支援知識とスキルを持つことや、自立生活をサポートするにあたって必要な成年後見制度等の法令・制度に関する知識を持つことは不可欠である。

今年度は具体的な取り組みに着手できなかったため、次年度以降も継続して検討していきたい。

○その他事業課題について

(1) 法人主任会議の取り組みについて

法人主任会議では昨年度に引き続き (i) 就労支援のあり方について、(ii) 虐待に関する取り組みについて、(iii) 危機管理 (リスクマネジメント) について、の3テーマについて継続的な議論をおこなった。今年度はすべてのテーマについて一定の結論 (答申) を導き出すに至っており、すべての提案が具体性のあるものであった。これらの取り組みについては、法人運営会議と法人主任会議との間で実務的なすり合わせをおこないながら、順次実行に移していきたい。

テーマ	提案内容
就労支援のあり方	利用者の作業活動の充実および活性化を図るため、「生産活動連絡会」を立ち上げ、商品の開発・生産・販売等について検討する基盤を作る。
虐待に関する取り組み	虐待防止をテーマとした研修を各事業所で年1回以上おこない、その報告レポートを作成して共有する。また、主任会主催の研修会を開催する。
危機管理 (リスクマネジメント)	ヒヤリハットおよび事故報告書の新様式の提案。インシデントとアクシデントの分類の提案。 BCP (事業継続計画) の提案。震災など、有事の際の法人の復旧・始動体制に関する提案。

(2) 衛生推進委員会の取り組みについて

衛生推進委員会では定期的に会議をおこない、各事業所の状況やメンタルヘルスに関する取り組み等の情報交換を重ねた。また、アドバイザーとして参加している横尾社会保険労務士から衛生推進に関する講義や、諸問題に対する助言などをいただきながら進めてきた。

また、これまでの委員会活動から生まれたものとして法人全職員研修会には峰島厚先生 (立命館大学 産業社会学部 特別任用教授) をお招きして「職員の育ちあい・育てあいを考えるー現在の国の施策動向のなかでー」と題して、職場や職員が抱えるストレス・メンタルヘルスと国策の関係性や、職場におけるストレス・メンタルヘルスに関する情報や視点について学ぶ講演をおこなっていただいた。

今年度の取り組みの中で、基本的な課題の抽出はできたものと評価できる。次年度以降は、情報共有や意見交換にとどまらず、研修の受講および伝達研修の実施などの具体的な動きに結び付けていくことが求められている。

○さいごに

平成 29 年度は人材確保の厳しさを痛感した一年であった。福祉人材難は社会的にも問題になっており、法人としても職員採用試験の実施時期を早めるなどの対策を講じたものの、応募者は少数であるなど効果は薄かった。正規職員だけではなく非常勤職員について採用が難しくなっていることで、現場の支援体制にも影響が出ている。法人 P R の方法、実習生・見学者等の受け入れ体制の充実など様々な対策を講じながら人材確保の問題に対応していきたい。

II 経過報告

II - (1) 理事会・評議員会の開催状況

①理事会

開催年月日	議事内容
(平成 28 年度分) 第 7 回理事会 平成 6 月 1 2 日 (月) 場所 こまくさ苑 出席者 加々見ちづ子、伊藤恵仁、大木正俊 荒中 佐俣主紀 西村學 監事 佐々木和久 伊藤倫就	審議事項 (1) 平成 28 年度事業報告及び財務報告 (2) 役員・評議員及び評議員選任・解任委員会の報酬基準について (3) 法人会計基準の改定について (4) 社会福祉充実計画について (5) 新理事会の構成について
第 1 回理事会 平成 2 9 年 6 月 3 0 日 (月) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 加々見ちづ子、西村學、沖津美奈子 佐藤弘康、芝田和史	報告事項 (1) 第 1 回定時評議員会の報告 審議事項 (1) 理事長および業務執行理事の選任
第 2 回理事会 平成 2 9 年 8 月 7 日 (月) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 加々見ちづ子、西村學、沖津美奈子 加賀谷尚、佐藤弘康、芝田和史 監事 佐々木和久	報告事項 (1) 法人財務委員会の設置について 審議事項 (1) 理事長および業務執行理事の選任および解職について
第 3 回理事会 平成 2 9 年 8 月 2 4 日 (月) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 加々見ちづ子、西村學、沖津美奈子 加賀谷尚、佐藤弘康、芝田和史 監事 佐々木和久、伊藤倫就	審議事項 (1) 「平成 30 年度障害福祉サービス事業所整備に係る事業選定」について

<p>第4回理事会 平成29年10月23日(月) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 加々見ちづ子、西村學、沖津美奈子 加賀谷尚、佐藤弘康、芝田和史 監事 佐々木和久、伊藤倫就</p>	<p>報告事項 (1) 経過報告 審議事項 (1) 定款変更について (2) 「平成30年度障害福祉サービス事業所整備に係る事業選定」について (3) 費用弁償規程について (4) 社労士の委託業務契約の内容変更について (5) 旅費規程について</p>
<p>第5回理事会 平成30年2月13日(火) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 加々見ちづ子、西村學、沖津美奈子 加賀谷尚、佐藤弘康、芝田和史 監事 佐々木和久、伊藤倫就</p>	<p>報告事項 (1) 第三者委員会の実施報告 (2) 「住まいの場」検討に関する報告(経過報告) (3) 就業規則改定に関する報告(経過報告) 審議事項 (1) 平成30年度人事について</p>
<p>第6回理事会 平成30年3月23日(金) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 西村學、沖津美奈子、加賀谷尚 佐藤弘康、芝田和史 監事 佐々木和久、伊藤倫就</p>	<p>報告事項 (1) 仙台市による施設指導監査における指摘事項への対応について 審議事項 (1) 就業規則等の改定について (2) 平成29年度第1次補正予算案について (3) 平成30年度事業計画書および平成30年度資金収支予算書案について (4) 平成30年4月1日以降の役員(理事)体制について</p>

②評議員会

開催年月日	議事内容
<p>第1回評議員会 平成29年6月28日(水) 場所 仙台市なのはなホーム 出席者 遠藤雄三、川住隆一、國分祐子 小松秀茂、立岡学、横尾盛雄、 門間久美子 加々見ちづ子(専務理事) 伊藤恵仁(常務理事) 芝田和史、佐藤重範(法人本部)</p>	<p>報告事項 (1) 定款等の確認について 審議事項 (1) 平成28年度決算書類の承認と平成29年度の期首残高の確認及び財産目録の確認 (2) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬、および支給基準の承認について (3) 社会福祉充実残額の確認と「なのはな</p>

	<p>会事業発展計画及び財務計画の概要について」</p> <p>(4) 役員の選任について</p>
<p>第2回評議員会</p> <p>平成29年10月27日(金)</p> <p>場所 仙台市なのはなホーム</p> <p>出席者 遠藤雄三、川住隆一、國分祐子 小松秀茂、門間久美子、荒井美智子 加々見ちづ子(理事長) 芝田和史(業務執行理事)</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 近況報告</p> <p>(2) 「平成30年度障害福祉サービス事業所整備に係る事業選定」申請の報告</p> <p>(3) 「平成30年度障害福祉サービス事業所整備に係る事業選定」に関連する管理職候補者採用について</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 社会福祉法人なのはな会定款の変更について</p> <p>(2) 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程改定案について</p> <p>(3) 理事長交代に伴う役員報酬の例外的な支給についての提案</p>
<p>第3回評議員会</p> <p>平成30年3月27日(火)</p> <p>場所 仙台市なのはなホーム</p> <p>出席者 遠藤雄三、川住隆一、國分祐子 小松秀茂、立岡学、横尾盛雄、 門間久美子、荒井美智子 加々見ちづ子(理事長) 芝田和史(業務執行理事)</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 近況報告より</p> <p>(2) 「平成29年度第1次補正予算案」について</p> <p>(3) 平成30年度事業計画書案および平成30年度資金収支予算案について</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 平成30年度4月1日以降の役員(理事)体制について</p>